

## 「マルチステークホルダー方針」

カルビーグループは、2009年にグループビジョンとして「顧客・取引先から、次に従業員とその家族から、そしてコミュニティから、最後に株主から尊敬され、賞賛され、そして愛される会社になる」を制定し、多様なステークホルダーとの価値協創に取り組んでまいりました。今後も、グループビジョンと企業理念に基づき、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、持続的な企業価値の向上および社会の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

カルビーグループの競争優位性の源泉であり、今後の成長の原動力となるのは人財です。一人ひとりの多様性を活かした「全員活躍」の考え方のもと、従業員の自律的な成長を会社の成長につなげることで、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げ等を行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、教育訓練等を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、賃金の引上げについて労使での対話を重ね、真摯に取り組むとともに、教育訓練等について「1. 経営・グローバル・DX 人財の育成」「2. 社員一人ひとりの成長とキャリア自律の支援」「3. お互いに成長し合える組織風土の醸成」に取り組んでまいります。この取り組みは、持続的な人財の確保・一人ひとりの貢献の最大化に繋がり、未来のカルビーグループを創る人財投資と捉えています。

#### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載が取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自主的に取り下げます。

・ パートナーシップ構築宣言のURL

【 <https://www.biz-partnership.jp/declaration/73256-05-01-tokyo.pdf> 】

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方等を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和6年11月8日

カルビー株式会社

氏名又は名称

代表取締役社長 兼 CEO 江原 信

法人にあっては代表者の役職及び氏名